

### 第3回庄内町社会教育委員会 会議録

- 1 開催日時 平成25年8月27日(火)13時30分～15時05分
- 2 開催場所 立川庁舎 大会議室
- 3 出席委員 斎藤良一、佐藤富美、富樫良秋、佐藤啓子、石井玲子、奥山俊昭、志田征子  
岩浪勝雄、志田啓子、矢嶋玲子、菱谷光雄、阿部真一
- 4 欠席委員 廣田静吾、秋葉俊一
- 5 事務局 社会教育課長、社会教育課長補佐

.....  
進行：社会教育課長

- 1 開 会 社会教育課長 (13:30)
- 2 議長あいさつ
- 3 議事録署名委員  
岩浪 勝雄 志田 啓子
- 4 協議事項  
(1) 庄内町青少年育成プログラムの見直しについて  
(2) 第4回山形県社会教育研究大会の参加等について

#### 協 議

- (1) 庄内町青少年育成プログラムの見直しについて

《資料により事務局説明》

- 【議 長】 ただいまの説明について質問はございませんか。部分的になります。「2 青少年を取り巻く環境と課題」について、皆さん何かありませんか。
- 【委 員】 特にありません。そのままでもいいかと思います。
- 【議 長】 その他の方はいかがですか。2の「③学校の課題」についてはいかがですか。
- 【委 員】 「学校の課題」についてはこのままで十分だと思います。
- 【委 員】 私もこのままで十分だと思います。
- 【議 長】 全体的な内容はどうでしょうか。
- 【委 員】 生活そのものが、前とは違ってきている。基本となる家庭の中で親子関係がうまくできていないと思われるし、行政、福祉にまかせておけばよいという感じがしている。子どもたちにとっては、生活の中での基本的な生活習慣が大切であり、人任せにしないでやることだと思う。家庭の中で、家族みんなで話し合いをすることが大切だが、そのような機会や時間がないなどで、その歪みが子どもたちにも出て来ているのではないかと思う。このプログラムについては、全体はよくまとまっていると思う。
- 【議 長】 今年の南三陸町との交流はどうでしたか。
- 【事務局】 バス1台に乗車できる人数として小学生が40人弱、中学生が10人の参加で行われました。この国内交流は会場地を南三陸町と庄内町が交互に開催し、来年は庄内町で開催されるので、中学生ボランティアなどは3日間参加できなくとも1日でも

構わないので、多くの人から参加してもらい、南三陸町の子どもたちと交流をしてほしいと考えています。

【議長】 小学生の参加者は学校を通して募集しているのですか。

【事務局】 そうです。

【委員】 前に南三陸町の漁協の人たちと交流会をしたとき、中学生が積極的にその手伝いをしていて、その関わり方には成長している姿を感じました。

【委員】 このプログラムの方向性などはいいと思いますが、字句の訂正として8ページ中「こうした環境は、青少年が地域に対する認識を深めるため、地域の自然やさまざまな人との出会い、歴史・文化などに触れたり、学ぶ体験を充実させ、・・・」を「こうした環境を活かし、青少年が地域に対する認識を深めるためには、地域の自然やさまざまな人との出会い、歴史・文化などに触れたり、学んだりする体験を充実させ、・・・」に、9ページ中段「豊かな感性やたくましい創造力を育まれるよう・・・」を「豊かな感性やたくましい創造力を育くむように・・・」に、10ページ中同様に「社会環境の是正や浄化について関心を持ってもらう・・・」を「社会環境の是正や浄化について関心を持てるように・・・」に、11ページ中段「広く認識してもらい、実際の行動に結びつけてもらうことが・・・」を例えば「広く認識させ、実際の行動に結びつけることが・・・」に、同様に下段の「もらうなど・・・」も言葉の表現を変えた方がよいかと思います。

【議長】 皆さんもそれでいいでしょうか。それでは、今のような表現を参考にして字句等を整理してください。

【事務局】 わかりました。

【委員】 青少年の中には障害を持つ子どもたちも含まれていると思いますが、その人たちに配慮した内容はあるのでしょうか。

【事務局】 記載されているところはないです。

【委員】 ボランティア活動の面でいろいろな団体が庄内町にはあって、社会教育としてはその方たちとも繋がりがあってから、障害者支援というような立場での記載があってもよいのではないのでしょうか。ノーマライゼーションのもとにみんな同じ、みんな一緒に暮らそうという考えやインクルーシブ教育も進められてきているので、そのような内容も記載されていてもよいかと思います。

【事務局】 もし、記載するとすれば、5基本方向と具体的施策の推進中、(3)多様な人との関わりを通じた心のふれあう活動の推進の中に取り込むことができると思います。

【議長】 一つの項目を起こすとすると大変でしょうが、今の項目に取り込むことでいかがでしょうか。

【委員】 障害者との多様な関わりは、高齢者と子どもの世代間交流と同じように、障害者と健常者が同じ社会の中で関わって生きていくという共生社会になるかと思っています。

【事務局】 このことについては前段も変わってくることになるかもしれませんが、教育長とも相談してみます。

【議長】 それでは、名称は第2次青少年育成プログラムでよいでしょうか。

【委員】 異議なし。

【事務局】 これまでの協議内容をまとめて整理したうえで、再度会議を開催する時間もないこ

とから手直ししたプログラムを皆さんに送付し、その内容でご意見をいただくということにしていかがでしょうか。

【委員】 異議なし。

【議長】 そのほかございませんか。それではプログラムについて以上とします。次の説明をお願いします。

(2) 第4回山形県社会教育研究大会の参加等について

《資料により事務局説明》

【議長】 その他はありますか。

【事務局】 次回（10月21日）の研修会について説明

【議長】 そのほか何かございませんか。

【委員】 協議が終わってからですがプログラムはよくまとめてあっていいかと思います。「地域」という言葉がよくでてくるのですが、「子育て、親育て、」ではないけれども、地域をどうするのかを集落や地区の公民館に任せるだけでなく、地域育てをもっとはっきり色濃くしてはどうかと思います。また、読書指導、読書活動が取り上げられています。小さい頃に読んだ本は心の宝になると思うので、もっと今以上に学校でも本のPRをしてほしいと思います。ゲームではなくて、子どもたちを本に親しませる取り組みを持ってもらえればうれしい。学校にたまに読み聞かせにいくとキラキラした目で見てくれるので、学校でも読書活動をよろしくお願いします。

【議長】 成人式への参加率も震災以降よくなってきているようで、また、しっかりした意見を持っている成人が多くなったと感じます。

【委員】 成人式は式典だけでなく、成人者の企画したパフォーマンスなどもあって良かったと思うのですが、もっと来賓者の方からも式典の後も残って若者の声を聞いてほしかったと思います。

【事務局】 成人者には地元に対しての思いなどもあり、成人者のスピーチを聞いてもとても好感もてる若い人が多くなってきていると感じました。

【委員】 地元への愛着のある人が多くて、地元に戻りたいという人たちが戻れるようになればいいのですが。

【議長】 八幡スポーツ公園の利用状況はどうでしょうか。

【事務局】 少々天候が悪くても人工芝のため、サッカー練習もできるようになり利用する人もいいようです。

【委員】 今日、図書館本館に手伝いに行ったときに来客者からベビーカーを入れてよいかと聞かれ、車輪を拭いて入館してもらったのですが、ベビーカーが入れない図書館は少なくなってきているのではないかと思います。施設の整備は厳しいと思うが、土足でも入館できるような施設へ対応することはできないでしょうか。

【事務局】 図書館建設については、町の施設等整備の順番などもあるのでなかなか進まない状況です。

【議長】 図書館建設については皆さんからも要望をしてほしいと思います。そのほかございませんか。なければこれで協議を終わります。

【課長】 閉会

(15 : 05)